

「社会を明るくする運動」を啓発



誰もが住みやすいまちに 強調月間に合わせて呼びかけ

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。7月は運動の強調月間に当たることから、更生保護活動に関わる約30人がモリーブ店舗前やJR守山駅前前で啓発活動を実施しました。

7月18日 | JR守山駅前広場 など

世界を変えるためにバカになる(講演会)



滋賀県から世界をめざす 3人の挑戦者が語る

市民ホールで、「世界のプロダンサーに」「滋賀にリーグを」「大人が夢を語るの世界を」と、それぞれの夢を目指して挑戦する、滋賀県や守山市ゆかりの3人が講演を行いました。このうち、今秋からイギリスのバレエ学校に入学する中島 楓さんは、言葉の代わりにバレエを披露して大きな夢を表現し、客席から大きな拍手が送られていました。

7月14日 | 市民ホール 大ホール

スポーツ少年団 激励会



祝 全国大会出場! 力いっぱいがんばるぞ

県内の予選会を経て、名誉ある全国大会への出場を決めた、剣道の「守山剣友会」「守山錬心館」、軟式野球の「物部少年野球団」「立入が丘ジュニア・スキッパーズ」「河西ジュニアーズ」の激励会が行われました。市長などから激励を受けた子どもたちは、決意を新たに「練習成果を出し切りたい」などと力強い抱負を語っていました。

7月25日 | 守山小学校

赤野井湾探検会



赤野井湾の恵みに満足 釣りや漁、外来魚の解剖を体験

恒例の赤野井湾探検会が実施され、小学生親子約30人が参加しました。漁船での漁体験やニゴロブナの稚魚放流で赤野井湾の恵みを体感するとともに、外来魚(ブラックバス)を解剖。漁で獲れた魚についても学びました。参加した児童は「夏休みの自由研究に役立てたい」と話していました。探検の最後には特製弁当が配られました。

7月23日 | 赤野井湾 など



守山市の人口

令和5年7月31日現在
(前月比)

人口	85,767	(- 13)
男	42,226	(- 6)
女	43,541	(- 7)
世帯数	34,832	(+ 17)

よりよい仕事をしていき
が、変化を楽しみながら、
行とはよく言ったものだ
る方も必死である。不易流
マホだと? 改変の波に乗
る。え、何? 今度は公用ス
も着実に変わり続けてい
となったように、業務自体
ての手書きから電子決裁
を満喫したものだ▼かつ
に耐える: 自然の厳しさ
い、冬は指がかじかむ極寒
間紙、夏はうだる暑さと戦
劣化した窓枠に詰めた新
は、雨漏り対策のバケツ、
た。なにせ愛しの旧庁舎で
働きやすさにもつながった。
らしい展望を感じていただ
きたい▼さて、快適なあつ
らえは、当然ながら職員
の働きやすさにもつなが
越しいた。守山市の明
る。活用はなくともぜひ新
された各課窓口が迎える
られると、広い廊下と集約
の差し込むロビーに迎
の外観を経て、開放的で陽
る。掘築新待ちわびた
掘築新待ちわびた
掘築新待ちわびた



掘築新待ちわびた
掘築新待ちわびた
掘築新待ちわびた